

大阪市立茨田小学校 令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】実施報告書
(補足説明資料)

本校では、「小学校経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる」ことを年度目標とした。

上記を達成するために、以下の1つの取組を行った。

1. 取組内容（1）について

1－1. 取組を実施する必要性

本校では、平成 30 年度の全国学力・学習状況調査では、国語 A では1ポイント・算数 AB とも2ポイント大阪市平均を下回った。

特に国語科の「読むこと」では大きく下回った。算数科では A・B の「量と測定」の単元で下回った。

しかし、国語科の漢字の書き取りにおいては、大阪市平均を上回った。これは前年度取り組んだ、朝の学習の「漢字タイム」が効果的であったと思われる。

そこで、今年度は朝の学習を「ぐんぐんタイム」とし、漢字だけでなく、計算練習にも取り組むことにした。

また、家庭での学習習慣が定着していない児童もいる。

これらの課題を解決するために、寺子屋プリント（算数科学習プリント）を活用し、朝学習や家庭学習の効果を上げるとともに、教員の負担を軽減する一助とする。

1－2. 取組を実施することにより期待できる効果

寺子屋プリントの活用により、児童の学習意欲を向上させ、単元テストの正答率の向上につなげることが期待できる。

また、教材準備にかかる負担軽減により、課題のある児童の状況分析を行い、分析結果に応じた重点的指導を行うことで、単元テストの正答率の底上げにつなげることが期待できる。

1－3. 具体的な実施内容

具体的な実施内容としては、下記のとおりである。

① 家庭学習としての自主学習プリントとして

児童が自分の学習したい単元や苦手な単元を棚から探して自主学習プリントとして活用した。学年の既習の単元と一つ下の学年の棚から自由を選ぶ

ことができ、また、自分で採点することにより、間違いに気づくことができた。

② 朝の学習や放課後ステップアップの自主学習教材として

朝の学習では担任がクラスの人数分を利用し、基礎・基本の定着を図った。放課後ステップアップでは学びの習慣化として有効活用できた。

③ 新型コロナウイルスによる学校休業への対応

年度当初には全く予想していなかったが、3週間にわたる学校休業の時に児童へ配布し、家庭での学習の一助とした。

1－4. 取組に対する達成状況（A～D）及びその評価理由

・取組に対する達成状況：B

・評価理由：

取組内容（1）においては、自主学習プリントにより、学習習慣の定着や担任の負担を減ずるという成果をあげることができた。

しかし、「小学校経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる」という目標に対しては達成できた学年とできなかった学年があった。

以上の成果から、B評価とした。

2. 総論

2－1. 年度目標の達成状況、総評

本校では、上記の取組を実施することにより、「小学校経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる」ことに取り組んだ。当初の申請では「準備」「基本」「応用」のプリントシステムを授業中に活用することにより、目標達成を目指す予定であったが、審査の結果、次点となり、自主学習プリントとしての棚システムのみの購入となった。しかし、棚システムだけでも一定の成果を上げることができたのは評価できると考える。次年度は加算配布がなくなるが、自主学習プリントのシステムを継続し、さらなる活用と、成果の向上を研究したい。

2－2. 学校協議会における意見

新型コロナウイルスの影響のため、第3回学校協議会は開催せず。